

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2012.09) 平成22年度:160.

周産期の死に関わる看護師が抱く感情とその要因～周産期センターで働く助産師への面接調査を通して～

山中千晴、原口真紀子、手塚千春、鈴木笑佳

## 周産期の死に関わる看護職が抱く感情とその要因 ～周産期センターで働く助産師への面接調査を通して～

○山中 千晴<sup>1)</sup>、手塚 千春<sup>2)</sup>、原口 眞紀子<sup>1)</sup>、鈴木 笑佳<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>旭川医科大学病院周産母子センター4階東ナースステーション

<sup>2)</sup>旭川医科大学病院周産母子センターNICU

<sup>3)</sup>旭川医科大学大学院医学系研究科

### 【目的】

わが国の周産期死亡は、戦後一貫して改善され諸外国と比較しても低率となっているが、流産、死産、新生児死亡などの悲しい場面は依然としてある。周産期の死に関わる看護職には、戸惑いや迷いの感情があり、その背景要因として、周産期の死へのケアの知識、経験不足が指摘されている。B病院は、3次医療圏を包括する周産期センターであり、周産期の死に出会う機会がある。そこで、周産期センター助産師が周産期の死に関わる際に抱く感情とその要因を明らかにする。

### 【対象】

B病院周産期病棟助産師 19名

### 【方法】

周産期の死に関し抱いている感情と実施しているケアに関しての自記式質問紙調査および、実際に死産の分娩

介助の経験がある者に対しての面接調査。調査結果に関しては全て数値化し、統計学的手法で分析した。面接調査の分析にあたってはKJ法を用い、分析の際にはスーパーバイズを得た。

### 【結果および考察】

助産師が抱く感情としては、先行研究と同様、母親や家族に対しての戸惑いや迷いがあった。一方で、関わる機会を持つことができ良かったなどの肯定的な感情を抱く者もいた。経験が少ない助産師は前者の感情を抱くが、経験を重ねるにつれ、戸惑いの感情が肯定的な感情に移行していく傾向がみられた。